

タイヤ インサイド パッチ修理キット

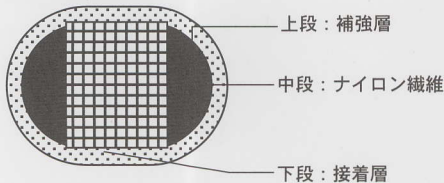
取扱説明書

このたびは、「タイヤインサイドパッチパンク修理キット」をお買いいただきました。誠に有難うございます。ご使用になる前に必ず、この取扱説明書をお読みの上、正しくご使用ください。その後、大切に保管し必要に応じてお読みください。

特徴

本修理材はタイヤの内貼り用の修理材です。
特殊ナイロン繊維入りですので傷口を完全に補強します。
※傷口は直径及び長さ5mm以下が最大の修理可能範囲となります。
※アウターライナー方式のチューブレスタイヤにパンク修理材として使用する事はできません。

◆タイヤパッチの構造



△ 注意

ご使用の際は多少の慣れが必要です。使い方によっては事故・ケガの原因となる場合もございます。ご使用前には、お客様ご自身で充分に安全をお確かめの上、お使いください。

△ 保管上の注意

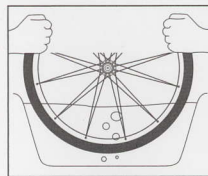
- ゴムのりは幼児の手の届かない所に保管シロなどに入れないようご注意ください。
- ゴムのりは蒸発しやすいので、必ずキャップを固くしめてください。
- ゴムのりは使用目的以外には使用しないで下さい。保管は直射日光の当たらない冷暗所でキャップをしっかりと締め保管してください。
- 修理材は直射日光の当たらない場所に、保管してください。

インサイドパッチの貼り方

① タイヤに空気をいれて水をいれたバケツなどに浸し空気漏れ箇所を確認します。空気モレ箇所サインペンなどで目印を付けてください。

注意

小さな傷の場合モレ箇所が、わかり難い事がありますのでゆっくり慎重に水調べてください。パンク箇所は一箇所とはかぎりません。一周すべて確認してください。



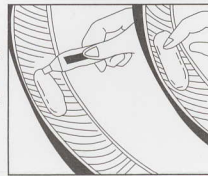
② 目印を付けていたタイヤ内部をサンドペーパーなどでタイヤパッチより少し広めにバフがけしてください。ゴムクズ、汚れは拭き取ってください。あわせて、タイヤ内外側に異物がないか、よく確認してください。

注意

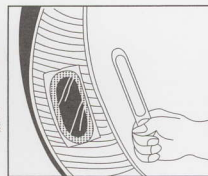
チューブレスタイヤ内面のエアシール層は大変薄くデリケートです。バフがけは表面のつやが消える程度の軽めの方が行なってください。



③ バフがけた箇所にエコセメント(接着剤)を広く、薄く塗りつけてください。完全にエコセメントが乾いてからインナーパッチを貼り付けてください。透明フィルムを引っ張ると修理材がアルミよりはがれます。



④ パンク穴が修理材の中央になるよう貼り付けます。次に先の丸い工具(樹脂製タイヤレバーのへら箇所)を利用して圧着してください。その後、透明フィルムを慎重に引き上げフィルムを取り外します。その後、リムにタイヤを組み込み空気モレがないか確認してください。なければ、作業は終了です。有れば①の作業から繰り返してください。



チューブレスタイヤの着脱

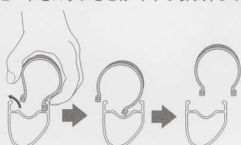
タイヤの取り外し

● タイヤの空気を抜いてから片方のビードを両方のようにリムのハンプの内側の溝に落とし込ませます。



注意
ビードは必ず片側だけ落とし込んでください。両側を落とし込むとタイヤが外し難くなります。両方、落とし込んだ場合はもう一度空気を入れてビードをロックさせ、タイヤの取り外しの最初の手順に戻ってください。

● エアバルブ側から片方のビードを取り外し、その後もう一方のビードを取り外します。

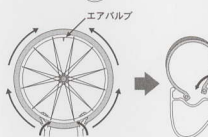


タイヤの装着

● 図のようにタイヤの片方のビードをはめ込みます。この時、タイヤビード部、リム及びバルブ部にゴミの付着や傷がない事を確認してください。



● エアバルブの反対側からもう一方のビードをセットアップします。



エアバルブ側はいれにくくなりますので、その場合反対側の入っているほうのビードを手で上に押し上げる動作をエアバルブのところで繰り返します。

最後に図のように両手でタイヤを握って、タイヤをリムに入れます。

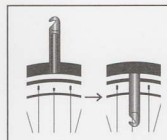
空気を入れてタイヤのビードを図のようにリムにロックさせます。
この後一度空気を抜いてビードがリムにロックされていることを確認し、再度使用する空圧まで空気を入れてください。
ビードがロックされていないと空気を抜いた時にビードがリムから外れます。
(MAX:タイヤ空圧 800kPa/116psi)



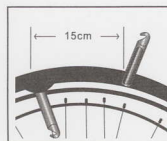
チューブ入りタイヤの着脱

タイヤの取り外し

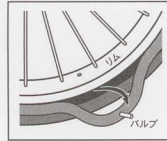
● キャップ、袋ナット、プランジャー、リム固定ナットをはずします。(仏式バルブの場合、キャップ、リム固定ナットをはずしこ小ネジを緩めてください。その後小ネジを押し込み空気を抜いてください。)



① タイヤレバーをタイヤとリムの間に差し込み、テコの要領でタイヤを手前におこします。タイヤを引きおこせたらタイヤレバーのフックをスポークに掛けてください。※チューブを傷つけないようにタイヤレバーはビード箇所のみにかかるように注意して下さい。



② 2本目のタイヤレバーをリムに沿って約15cm離して差し込み①の作業を繰り返します。(タイヤがリムからはずれぬまでこの作業を繰り返してください。)

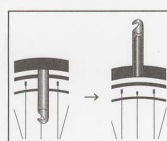


③ タイヤがリムからはずれたらバルブ穴からバルブを抜きチューブを取り出します。その後、もう片側のタイヤをリムから外してください。



タイヤの装着

● 片側のタイヤビード部をリムにはめ込みます。その後、チューブバルブ箇所をバルブ穴に通しチューブをタイヤ内に入れてください。※この際、ネジレ、折り曲げなどおこらないよう注意してください。



● もう片側のビード部をリムに入れます。手で出来る所まではめ込み、その後、タイヤレバーを使って入れてください。※この際ビード部とリムの間にチューブが挟まっている事を確認してください。特にバルブ箇所は、挟み込みが多く発生します。バルブ箇所を軽くタイヤ内に押し込むようにしチューブがリムとビードの間にはさまっていない事を確認して下さい。

● リム固定ナットは必ず手で締め込めるまで締めてください。その後、プランジャー、袋ナットを装着します。(仏式バルブの場合はリム固定ナットを装着してください。)

● バルブ形状に応じた空気入れてに適正空圧まで空気を入れてください。※空圧はタイヤに表示されている標準空圧に従ってください。その後、キャップを締め作業完了です。

販売元 シマノセールス株式会社

〒592-8331 堺市西区築港新町1-5-15
「自転車お客様相談窓口」ナビダイヤル0570-031961

製造元 マルニ工業株式会社

〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3-11-1
TEL 06-6716-4171 Fax 06-6715-1700